

事業所名 キッズルームびすけっと

公表日 令和8年 3月 1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点と課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容と職員配置を工夫してスペースを使っています。今後も、その都度限られた空間をうまく活用していく工夫を行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		柔軟な勤務形態にて、児童の状態に対して支援できるようにしていますが、対応が必要な児童をしっかりと支援していくためには、人員の配置だけに留まらず、職員間の更なる声の掛け合い、スケジュールの共有、役割分担を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		静と動の空間を分ける、パーソナルスペースの確保、死角になりやすい場所は職員で連携しつつ、児童にも伝えていきます。視覚的なわかりやすさを工夫しつつも、危険のない程度のバリアフリーも取り入れています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、消毒の徹底、定期的な換気を行っています。活動内容や状況に合わせた空間作りに努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーソナルスペースの確保、クールダウンできる空間の確保、一人一人の状況に合わせた環境作りに努めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		年度初めに業務分担をスタッフ全員で決定し、半期で振り返りを行い、次につなげています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		集計結果を真摯に受け止め職員全員で共有し、できること、できそうなことから取り組み、改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングと定期的なミーティングを行い、振り返りを共有し、改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後の検討課題です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全スタッフに外部研修を周知し積極的に参加しました。事業所内では感染症や虐待防止および身体拘束適正化の研修を定期的に行いました。今後も各職員の学びの場をしっかりと確保していきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上で公表しています。プログラムの意図、一人一人に合わせた支援については、適宜お伝えしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		必要に応じてアセスメントを取り直しています。各職員の気づきを共有し、全員で検討する機会を大切にしています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全体で共有できる環境としています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたもの及び事業所独自のものを活用しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		常にガイドラインを意識し、何度も振り返りながら支援につなげています。一人一人の育ちの連続性を意識した支援を心がけています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当を決めつつも全員で話し合って決定しています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	発達支援5領域を意識し、楽しみながらできる内容へと常に工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	一人一人に応じた個別の活動と帰りの会の際には毎日集団活動を取り入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎日ミーティングを行い、連絡事項、役割分担、児童の情報共有を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	翌日のミーティングにて、前日の児童の様子や活動について共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	個人のカルテにその日の様子とともにその他情報を細かく記録しています。児童発達管理責任者が中心となって支援の検証・改善につなげています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的なモニタリングの他、送迎時や連絡帳の活用、電話連絡などを通して見直しの機会としています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	日常生活の充実と自立支援のための活動、多彩な遊びや体験活動、地域交流の活動、子どもが主体的に参加できる活動を常に意識した支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	日々の中での何気ない決定も意識して行っています。一人一人に応じた関わりをしながら、活動カードを使って児童が活動を自己選択したり児童の意見を反映させた活動内容にするなど、日々の積み重ねを大切にしています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	主に児童発達管理責任者が参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	地域の関係機関連絡協議会に参加し、顔の見える関係づくりに努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校との情報共有は基本的には保護者様を通して行いますが、必要に応じて保護者様同意のもと学校と直接やりとりを行うこともあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	保護者様、相談支援専門員を介して情報共有をしています。また、保護者様同意のもと他事業所との連携を積極的に図っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	保護者様、相談支援専門員には必要に応じて情報を共有する旨を伝え、承諾を得たうえで、学校のケース会議に参加しています。今後も行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	必要に応じて連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	曜日は限られていますが、児童館の活用や地域のこども食堂に参加しました。長期休みには他事業所との交流も行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	機会があれば参加したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々の送迎時、連絡帳などでこまめにやりとりを行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	今後の検討課題です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に必ず説明しています。不明点やご希望があれば適宜対応させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	日頃から子どもたち一人一人の声を拾うよう努めています。また保護者様とはモニタリング面談時に確認しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	一人一人の特性や発達段階に応じて支援内容とその意図等を説明しています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング面談以外にも、適宜相談に応じています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	今年度は実施しませんでした。来年度以降の検討事項です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で共有し、対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的なHPの更新や予定表の配布をしています。来所された場合は壁面やアルバム等子どもたちの活動の様子がわかるものを積極的にみてもらっていますが、更なる発信の方法を検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員間で共有し、徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		「見える化」「言語化」に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	当事業所のできることを検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルについては必要に応じて見直しを行い、職員間で共有しています。保護者の皆さまに対していつでも閲覧できるようになっていますが、周知の面で更なる工夫をしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回、避難訓練週間を設け、春には地震発生後河川の氾濫を想定した避難、秋には火災を想定した避難訓練を行いました。3月には不審者対応訓練を実施予定です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		必要な児童に対しては保護者様と連携し、細かく情報を共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間スケジュールに盛り込み、定期的に見直しを行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアル同様保護者の皆さまに対していつでも閲覧できるようになっていますが、周知の面で更なる工夫をしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティングで事実と要因、対応策の共有、振り返りを行っています。小さなヒヤリハットを大きな事故につなげないために更に意識していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に事業所研修を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在対象となる児童はいませんが、やむを得ず必要となった場合は、保護者様に十分説明すると記録にしています。まずは、身体拘束を行わないためのかわりも含めた環境設定を考えていきたいと思っています。	